

～ 図工の作品紹介～

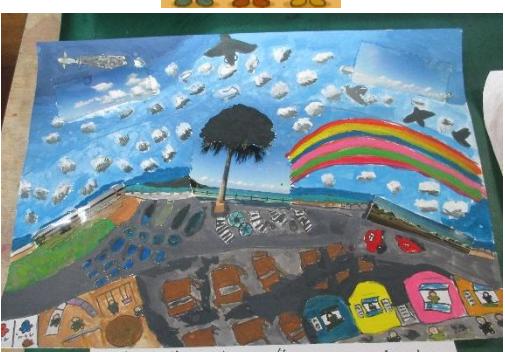
5年生の図工では、『あったらいい〇〇の世界』を描きました。何枚かの違った風景写真から、その周りに広がる「あったらいいな」と思う世界を想像して描きました。

想像と言えば、「SFの父」と呼ばれた19世紀フランスの作家、ジュール・ヴェルヌ（『八十日間世界一周』や『海底二万海里』の著者）が残した『人間が想像できることは、人間が必ず実現できる』という名言を思い出しました。ヴェルヌは自身が書いた小説の中で、当時は不可能だった自由な空の旅を描いています。その後、小説が世に出てからわずか20年足らずでライト兄弟がそれを実現します。

子どもたちの「あったらいいな」という想像も、いつか実現する日がくるかもしれませんね。

西神吉っ子の一コマ

あったらいいな！！こんな世界…



◆ お願い ◆

①体調管理について

11月頃から流行っていたインフルエンザ等の感染症ですが、本校では12月の中頃には落ち着き、それ以降、流行の兆しは見られませんでした。年が明けてからも同様でしたが、最近になって違う型のインフルエンザやコロナ等の感染による欠席が見られます。

まだまだ空気が乾燥し、寒い日が続きます。学校でも継続して感染症予防に努めてまいりますので、ご家庭でも気を付けていただけたらと思います。

②服装や持ち物について

登下校の際、ガウンやズボンのポケットに手を入れて歩く子どもがいます。この寒さですので、気持ちは分かりますが、両手がふさがった状態での登下校は危険です。保護者の方からも手袋をするよう、ガウンの下も上手に重ね着ができるよう、お声かけをお願いします。

また、防寒具もそうですが、職員室前廊下にある落とし物コーナーに届けられる落とし物が増えています。名前が書いてあればすぐに届けることができます。ぼうしや手袋、ハンカチ、水筒、鉛筆など、持ち物への記名をお確かめください。よろしくお願いします。